

進捗状況報告シート

基本目標 1

生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

P.7～P.63

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

P.64～P.104

基本目標 3

地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち

P.105～P.146.

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
 施策 1-1-1 安心して子どもを産めるまちをつくります

計画事業名	妊婦健康診査の充実						
主な取組内容	妊婦健康診査にかかる費用について、年間14回の助成を行います。また、妊婦超音波検査の回数増や里帰り等妊婦健康診査費用の助成を行います。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
妊婦健診助成の実施		14回 受診促進	充実				継続
妊婦超音波検査助成の実施		1回 受診促進					継続
里帰り等妊婦健康診査費用助成							継続

所管部局	保健所	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【妊婦健診助成の実施】 ○妊娠届出時に妊婦健康診査の受診券（1人あたり14枚）を交付しました。健康診査の受診人数は、1回目5,872人、2～14回目延べ57,770件でした。	4	
【妊婦超音波検査助成の実施】 ○妊婦超音波検査にかかる費用を助成（1人当たり1回）しました。検査人数は、4,841人でした。	4	
【里帰り等妊婦健康診査費用助成】 ○都外医療機関や助産所等、妊婦健診、超音波券が使用できない医療機関での妊婦健診等受診について、償還払い方式で助成しました。助成人数は1,720人（1回目332人、2～14回目延べ10,149人、超音波検査222人）でした。	4	
決算額	442,967,151円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
 施策 1-1-1 安心して子どもを産めるまちをつくります

計画事業名	すこやか赤ちゃん訪問事業の推進						
主な取組内容	健やかな子育てを支援するために、すべての乳児家庭を生後4か月頃までに訪問する体制を整備します。訪問により子育て情報の提供、乳児とその保護者の心身の状況や養育環境の確認、相談支援を実施します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
すこやか赤ちゃん訪問事業の実施		→					継続
			充実				

所管部局	保健所	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【すこやか赤ちゃん訪問事業の推進】</p> <p>○すこやかな子育てを支援するため、出生数 5,826 人のうち、延べ 5,373 人の乳児家庭を、生後 4 か月頃までに訪問しました（訪問率 92.2%）。</p> <p>○子育ての孤立化を防ぐため、訪問の際に様々な不安や悩みを聞き、必要に応じて地域の子育てグループ、養育支援家庭訪問事業、児童館、家事・育児支援サービス等、民間の社会資源の情報提供を行いました。支援が必要な家庭には、適切なサービスに結びつけるよう同行受診等により支援しました。</p>	4	
決算額	28,218,364 円	

- 基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
 施策 1-1-1 安心して子どもを産めるまちをつくります

計画事業名	両親学級(一日制)の充実						
主な取組内容	一日制(土または日曜開催)の両親学級は、育児に関する保健知識を得るとともに、「両親で子育てをしていく」という意識を持つよう、父親の育児参加を促すことを目的とした夫婦参加型の教室です。育児負担の大きい母親の心と身体の健康や、家族の積極的な協力を支援します。また、三日制の両親学級も開催していきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
両親学級(一日制)の実施		23回/年		30回/年			継続
両親学級(三日制)の実施		38回/年					継続

所管部局	保健所	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【両親学級（一日制）の実施】 ○夫婦参加型の一日制の両親学級（土日開催 29 回、平日開催 1 回、参 受講者 1,525 人）を開催しました。 ○区報や母子手帳交付時のチラシ配布により電子申請を周知し、申請の 利便性を図るとともに、参加希望者名簿の一元管理化により落選者の 減少に努めました。	4	
【両親学級（三日制）の実施】 ○三日制の両親学級（平日開催 38 回・参加者延べ 862 人）を開催し ました。	4	
決算額	6,577,306 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
 施策 1-1-2 子どもを健やかに育むまちをつくります

計画事業名	親の子育て力向上支援						
主な取組内容	育児支援と虐待の未然防止を図るため、子育て力向上プログラムを実施します。親の状況に応じた支援を行うため、親同士が自分の力を出し合い、相互に学び合うグループを支援する人材(ファシリテーター*)を養成します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
ファシリテーターの養成							継続
事業計画策定		検討	策定	点検	検証		
グループワークの実施							継続

所管部局	こども家庭部	
平成 25 年度の取り組み内容		進捗状況
【ファシリテーターの養成】 ○親同士が相互に学び合うグループを支援する人材(ファシリテーター)を養成する、ファシリテーター養成講座を実施し、12 人の修了者を輩出しました。		4
【グループワークの実施】 ○子育ての戸惑いや悩みなどに加え、関心のあることをグループで話し合いながら、自分に合った子育てを学んで行くグループワークを 8 コース(1 コース:週 1 回を 6 週間連続、参加者 77 人)実施しました。		4
決算額	1,419,182 円	

- 基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
 施策 1-1-2 子どもを健やかに育むまちをつくります

計画事業名	子育て応援サイト*の運営						
主な取組内容	子育て支援策の一環として、インターネット*による子育て情報の提供を充実させるため、区民参加型で子育てに関する地域密着情報サイトを運営します。このサイトでは、行政サービス、子育てイベント情報、お出かけ情報、掲示板等を掲載・運営し、身近で役に立つ情報をわかりやすく紹介していきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
子育て応援サイトの運営	企画・設計	→					検証
	サイトの構築・運営	区民参加手法の検討	→	→	→	→	継続

所管部局	こども家庭部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【子育て応援サイトの運営ーサイトの構築・運営】</p> <p>○両親・育児学級や子育て講座等、妊娠期から乳幼児向けの情報や、子ども科学教室等小中学生以上向けの情報等、成長にあった子育て情報やイベント情報などを、子育て応援サイトで随時提供しました。平成 25 年度のアクセス件数は 564,287 件でした（前年度比 15,586 件増）。</p> <p>○区民委員の運営による「おおた子育てほっとカフェ」については、編集委員会を開催（12 回）し、委員の取材記事の企画、編集を行い、子育て中、又は子育て経験者の目線を取り入れた記事を提供しました。</p> <p>○これまで冊子として配布していた「子育てハンドブック」、「サポートブックかけはし」をサイトに掲載し、インターネットからも閲覧できるようにしました。</p>	4	
決算額	7,303,959 円	

- 基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
 施策 1-1-2 子どもを健やかに育むまちをつくります

計画事業名	家庭福祉員制度の充実						
主な取組内容	区の認定を受けた家庭福祉員(保育ママ)が、自宅において、2歳未満の乳児を対象に保育を実施します。区は、家庭福祉員に対して運営費等を補助します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
家庭福祉員の充実	家庭福祉員数	31人	39人	43人	45人	47人	拡充
	保育定数	80人	103人	115人	120人	125人	拡充

所管部局	こども家庭部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【家庭福祉員の充実－家庭福祉員数】 ○新規に 2 か所のグループ保育室（区が提供する保育スペース）を開設し（古川グループ保育室/家庭福祉員 3 人、大森西グループ保育室/家庭福祉員 3 人）、家庭福祉員数は 47 人となりました（前年度比 5 人増）。 ○家庭福祉員に、運営費等を助成しました。	4	
【家庭福祉員の充実－保育定数】 ○家庭福祉員の保育定数については、古川グループ保育室、大森西グループ保育室の開設などにより、124 人（前年度比 13 人増）に拡大しました。	3	
決算額	151,410,745 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
 施策 1-1-2 子どもを健やかに育むまちをつくります

計画事業名		認証保育所*支援						
主な取組内容		低年齢児保育や長時間保育などのニーズ*に応えるため、東京都独自の基準による認証保育所の開設を支援し、事業者に対して運営費及び開設準備経費の助成を行います。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
認証保育所支援	新規開設		8か所	2か所	2か所	3か所	3か所	支援継続
	認証保育所施設数		32か所	34か所	36か所	39か所	42か所	推進
	定員数		1,195名	1,262名	1,322名	1,412名	1,502名	推進

所管部局	こども家庭部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【認証保育所支援－新規開設】 ○認証保育所の開設を支援し、平成 25 年 9 月から 12 月にかけて「石川台駅前こども園（定員 37 人）」、「ポピンズナーサリースクール羽田（定員 40 人）」、「テンダーラビング保育園久が原（定員 32 人）」、「明日葉保育園雪谷園（定員 30 人）」を開設しました。	5	
【認証保育所支援－認証保育所施設数】 ○新規開設を進めた結果、平成 26 年 4 月現在 44 か所になりました。	5	
【認証保育所支援－一定員数】 ○新規開設及び開所済み施設に定員拡充を図り、総定員数は 1,645 人（前年度比 141 人増）になりました。	5	
決算額	1,745,888,227 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
 施策 1-1-2 子どもを健やかに育むまちをつくります

計画事業名		区立保育園の改築・改修の推進						
主な取組内容		耐震診断等の結果に基づき、老朽化した区立保育園を計画的に改築し、需要の高い低年齢児の定員を拡大、良質な保育環境を整備します。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
改築・改修等の推進	改築基本計画		検討	策定	推進			継続
	鶉の木保育園		工事	竣工				
	(仮称)新鶉の木保育園(新設)		実施設計		工事	竣工		
	森が崎保育園		実施設計		工事	竣工		
	入新井保育園		実施設計	工事	竣工			

所管部局	こども家庭部	
平成 25 年度の取り組み内容		進捗状況
【改築・改修等の推進－改築基本計画】 ○保育園改築等基本計画に基づき、池上第二保育園の改修、矢口第二保育園の改修、田園調布保育園の改修工事実施設計を実施しました。		4
決算額	299,732,327 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
 施策 1-1-3 未来を担う子どもたちを育てます

計画事業名	基礎学力の定着						
主な取組内容	算数・数学において内容のまとめごとと到達度確認プリントを使用し、到達状況を確認しながら指導します。また、到達状況をチェックシートで児童・生徒・保護者に示しながら、習熟に応じたプリントにより家庭学習を支援します。併せて、学習指導講師による算数・数学・英語の補習教室を放課後や土曜日に実施し、基礎学力の定着を図ります。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
算数・数学到達度確認プリントによるチェック 習熟度別プリントによる家庭学習の支援 学習指導講師による算数・数学・英語の補習		実施					継続

所管部局	教育総務部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【算数・数学到達度確認プリントによるチェック、習熟度別プリントによる家庭学習の支援、学習指導講師による算数・数学・英語の補習】</p> <p>○全校において、共通様式の学習カルテ等を活用し、全児童・生徒との学習カウンセリングを実施しました。</p> <p>○算数・数学のステップ学習プリント、習熟度別プリントを全小中学校に配布し、実施しました。</p> <p>○全小中学校で放課後及び土曜補習教室を開催しました。土曜補習教室では算数・数学・英語の補習を各校年間 6 回以上実施しました（小学生延べ 15,511 人、中学生延べ 6,852 人）。</p>	4	
決算額	96,097,756 円	

- 基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
 施策 1-1-3 未来を担う子どもたちを育てます

計画事業名		小中一貫教育の推進						
主な取組内容		各種小中一貫教育プログラムを策定・実施するとともに、小中学校の情報連携をさらに充実させ、小学校から中学校へのより円滑な接続と学習成果の向上をめざし、小中一貫教育を推進します。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
小中一貫教育プログラムの実施	規範意識*向上プログラム							継続
	英語活動プログラム	検討	策定	実施				継続
	体力向上プログラム	検討	策定	実施				継続
新たな教育課題に関するプログラム検討	キャリア教育*、自然体験プログラム等	策定	実施					継続
情報連携の推進	指針の策定	策定	各関係機関の情報連携の推進					継続
教科・行事における連携の推進								継続

所管部局	教育総務部
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況
【小中一貫教育プログラムの実施－規範意識向上プログラム】 ○全区立小中学校で、「規範意識向上プログラム」を道徳教育の計画に位置づけ、実施しました。	4
【小中一貫教育プログラムの実施－英語活動プログラム】 ○全区立小学校第 5・6 学年において、外国語活動プログラムに基づく外国語活動を実施しました。小学校においては外国語活動年間指導計画を作成しました。	4
【小中一貫教育プログラムの実施－体力向上プログラム】 ○体力向上プログラムに基づいた体力向上の取り組みを推進しました。また、大田区教育委員会ホームページにリーフレットを掲載し、取り組みを広く周知しました。	4
【新たな教育課題に関するプログラム検討－キャリア教育、自然体験プログラム等】 ○平成 24 年度に作成した「自然体験プログラム」（増補版）や今年度で作成した「とうぶガイドブック」を活用し、全校において自然体験学習を充実させました。	4
【情報連携の推進－指針の策定】 ○平成 22 年度に作成した「大田区における小中一貫教育の指針」に基づき、全校において計画的に小中一貫教育を推進しました。	4

<p>【教科・行事における連携の推進】</p> <p>○「大田区における小中一貫教育の指針」に基づき、小中一貫教育推進計画を中学校区ごとに作成・実施しました。</p>	<p>4</p>
<p>決算額</p>	<p>〇円</p>

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
 施策 1-1-3 未来を担う子どもたちを育てます

計画事業名	ICT*教育の推進					
主な取組内容	電子機器の活用や各普通教室に校内LANを構築し、ICTを活用した教育の充実をめざします。そのため、ICT活用指導のモデル校を設置し、本区における情報教育の先端校として、区内に広く成果を共有します。					
(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
ICT活用教育のあり方検討						
地上デジタルテレビ（電子黒板）の活用	導入					継続
校内LANの構築					検討	継続
ICTモデル校実施					検討	継続

所管部局	教育総務部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【地上デジタルテレビ（電子黒板）の活用】 ○電子黒板の活用を推進するため、ICT活用研修を開催（参加教員数38人）しました。 ○小学校第5・6学年社会科でデジタル教科書・中学校教科用図書地図のデジタル教科書を活用しました。	4	
【校内LANの構築】 ○検討の結果、平成26年度より全中学校で校内LANを利用して、教室内での無線ICT機器を活用する「ICT特別教室」を3か所ずつ設置することとなりました。	4	
【ICTモデル校実施】 ○校内LANの構築の検討と合わせ、学校における情報教育の推進を検討しました。中学校における「ICT特別教室」の具体的な活用について、モデル校の選定までには至らず、引き続き検討課題としました。	4	
決算額	0円	

- 基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
 施策 1-1-3 未来を担う子どもたちを育てます

計画事業名		不登校施策の充実					
主な取組内容		適応指導教室*を必要な地域に増設し、在籍校との連携を強化しながら、不登校児童・生徒と保護者への支援を充実させます。					
(平成/年度)		21	22	23	24	25	26～30
適応指導教室の活動スペースの改善		→ 蒲田校					
適応指導教室の増設	候補地検討	→					
	新規教室設置		→ 1校		→ 1校		完了
指導の充実(適応指導教室数)		2校	3校	→	4校		継続

所管部局	教育総務部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【適応指導教室の増設－新規教室設置】 ○大森西特別出張所の3階部分に大森教室を新設することを決定しました。	3	
【指導の充実（適応指導教室数）】 ○「池上教室」「蒲田教室」「羽田教室」にて、学校生活への復帰を援助しました。教室数4校に達しませんでした。3教室で17名の児童生徒が在籍校に復帰することができました。 ○ケース会議等、関係者・関係機関と連携し、対象児童・生徒への支援を検討するなど、組織的な対応を充実させました。 ○全小中学校にスクールカウンセラーを配置し、相談支援を行いました。 ○引きこもりがちの生徒宅や中学校の相談学級へメンタルフレンドを派遣（延べ733回）し、保護者・生徒に対する支援の充実を図りました。	3	
決算額	12,324,380 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
 施策 1-1-3 未来を担う子どもたちを育てます

計画事業名	日本語指導教室の充実						
主な取組内容	日本語指導教室を小中学校で拡充し、日本語指導が必要な外国人児童・生徒や、海外から帰国した児童・生徒に日本語指導を行います。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
日本語指導教室(通級)	蒲田小学校教室	都認可	指導実施				拡充検討
	中学校指導教室	開設準備	認可開設	指導実施			
日本語指導の実施(学校派遣)		年60時間					継続

所管部局	教育総務部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【日本語指導教室(通級)－蒲田小学校教室】 ○蒲田小学校で、教科学習等を充実させるために必要な日本語指導を小学生(3～6年生、22人)に実施しました。	4	
【日本語指導教室(通級)－中学校指導教室】 ○蒲田中学校で、教科学習等を充実させるために必要な日本語指導を中学生(全学年、33人)に実施しました。	4	
【日本語指導の実施(学校派遣・通級)】 ○小学生(74人)、中学生(28人)に、1人60時間の日本語初期特別指導を実施しました。	4	
決算額	22,540,950 円	

- 基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
 施策 1-1-3 未来を担う子どもたちを育てます

計画事業名		学校施設の改築					
主な取組内容		良好な教育環境づくりを進めるとともに、今後、大量の需要が見込まれる学校施設等の改築に対応するため、計画的な改築を進めます。					
(平成/年度)		21	22	23	24	25	26～30
羽田中学校改築工事		工事		竣工			
学校施設の改築	基本計画	1校 (嶺町小)	検討	1校 (東六郷小)	2校 (志茂田小・中)	検討	継続
	基本設計		1校 (嶺町小)	1校 (嶺町小)	1校 (東六郷小)	3校 (東六郷小、 志茂田小・中)	継続
	実施設計		1校 (嶺町小)	1校 (嶺町小)	1校 (東六郷小)	3校 (東六郷小、 志茂田小・中)	継続
	改築工事			1校 (嶺町小)	1校 (嶺町小)	1校 (嶺町小)	継続

所管部局	教育総務部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【学校施設の改築－基本計画、基本設計、実施設計】 ○東六郷小学校の実実施設計が完了しました。 ○志茂田小学校・志茂田中学校の基本設計が完了しました。	4	
【学校施設の改築－改築工事】 ○嶺町小学校の改築については、計画通り既存校舎の解体工事が完了し、Ⅱ期工事に着手しました。 ○東六郷小学校の改築については、既存校舎解体工事を予定していましたが、前提となる仮設体育館の建設が契約不成立となったため、現体育館を初めとする既存校舎解体工事が平成 25 年度内に着手できませんでした。 ※仮設体育館の建設契約が平成 26 年4月2日に成立したため、5月 27日から着工。	3	
決算額	415,165,785 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
 施策 1-1-3 未来を担う子どもたちを育てます

計画事業名	学校施設の緑化の推進						
主な取組内容	地球にやさしいまちづくりとともに、子どもたちの環境教育の充実を図るために、学校施設を活用した緑化を推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
壁面・屋上緑化*・校庭緑化等		4校 (道塚小、 入新井第一小、 石川台中、 蓮沼中)	2校3か所 (徳持小、 羽田中)	2校 (久原小、 仲六郷小)	3校 (磯町小、 雲谷小、 出雲中)	4校	継続

所管部局	教育総務部	
平成 25 年度の取り組み内容		進捗状況
【壁面・屋上緑化・校庭緑化等】 ○地球にやさしいまちづくりと子どもたちの環境教育の充実を図るため、多摩川小学校の校庭芝生化（2,200㎡）及び西六郷小学校（324㎡）・馬込小学校（223㎡）の屋上緑化を行いました。		3
決算額	106,345,295 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
 施策 1-1-3 未来を担う子どもたちを育てます

計画事業名	学校運営システムの構築								
主な取組内容	広域イーサネット*を利用した教育委員会内ネットワークを構築し、各学校間で教材の共有、校務管理、時数管理等、校務のICT*化を図ります。また、情報の共有化による、調査・統計等の事務処理の効率化を図ります。								
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30		
ネットワークの構築		検討	→		構築	→		運用・調整	継続
校務事務のICT化		検討	→			→		実施	継続

所管部局	教育総務部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【ネットワークの構築】 ○平成 23 年度に構築した学校運営システム（教育委員会事務局、区立小中学校等 94 拠点を結ぶネットワーク）の運営・保守を実施しました。	4	
【校務事務のICT化】 ○事務事業改善推進委員会作業部会（3 回）と保健機能検討会（5 回）を開催し、校務支援システムの活用の検討及び保健管理機能の設定内容の検討を行いました。 ○当システムを活用して、今年度から全校において通知表の作成が実施されました。	4	
決算額	290,565,173 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします
 施策 1-1-4 のびのびと成長する子どもを見守ります

計画事業名	学童保育及びフレンドリーおおた事業の充実						
主な取組内容	小学校低学年では、学童保育を必要とするすべての子どもが入れる体制づくりのため、小学校や他施設を有効活用したフレンドリーおおた事業を充実し、待機児童の解消を図り、子どもたちの放課後の安全な居場所づくりを進めます。廃園後の区立幼稚園舎跡地を学童保育室等に活用し、学童保育の充実を図ります。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
区立幼稚園舎改築	工事竣工		開設		運営		継続
フレンドリーおおたの充実							継続

所管部局	こども家庭部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【区立幼稚園舎改築】 ○区立幼稚園跡施設を改修したおおたっ子ひろば（6 か所）を運営しました。おおたっ子ひろばの全登録学童延べ数は 103,151 人（前年度比 2,345 人減）、一般利用が延べ 66,624 人（前年度比 921 人増）でした。	4	
【フレンドリーおおたの充実】 ○小学校内に設置のフレンドリーおおた（9 か所）の運営をしました。フレンドリーおおたの全登録学童延べ数は 114,325 人（前年度比 1,704 人増）でした。 ○フレンドリー北糺谷・フレンドリー高畑の平成 26 年 4 月 1 日開設に向けた準備が完了しました。	5	
決算額	1,021,473,123 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります
 施策 1-2-1 誰もが健康に暮らせるまちをつくります

計画事業名		健康づくりの推進						
主な取組内容		区民の主体的な健康づくりをめざして計画を策定し、区民、事業者*や区が連携して健康事業を実施することで、区民がすこやかに暮らせるまちづくりを推進します。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
健康づくりの推進	庁内検討会の開催							継続
	おおた健康プラン		策定	推進				継続
	自主的な活動支援		企画	推進				継続
健康診査・各種検診・健康相談の実施								継続

所管部局	保健所	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【健康づくりの推進－庁内検討会の開催、おおた健康プラン】 ○おおた健康プラン（第二次）の策定に向け、学識経験者、関係団体、公募委員からなる「おおた健康プラン推進会議」を開催するとともに、庁内での検討を進め、平成 26 年 3 月に策定を完了しました。	4	
【健康づくりの推進－自主的な活動支援】 ○区民の健康づくり活動を相互に結びつけることを目的とした健康づくりネットワーク（27 団体登録中）を継続し、グループ交流会を実施しました。 ○ネットワークグループと共同で、自主的な健康づくり支援として「私の健康づくり大・作・戦！おおた健康プラン実践編パンフレット別冊健康ウォーキングマップ」羽田編、雑色から武蔵新田編、田園調布から多摩川台公園編を作成しました。作成したパンフレットは、女性の健康づくり講演会などで配布（7,858 冊）しました。 ○健康づくりグループ相互の情報共有の場として、大田市場の見学と「食」に関する講習会、情報交換会（参加者 29 人）を実施しました。	4	

<p>【健康診査・各種検診・健康相談の実施】</p> <p>○女性特有のがん検診の受診率を上げるため、乳がん検診での検診車の導入に加え子宮頸がん検診でも検診車を導入し、土日の受診や二つの検診の同日受診ができるようにしました。また、子宮頸がん検診の実施期間を1か月延長して実施しました（乳がん検診受診者数 12,230人（前年度比 662人増）、子宮頸がん検診受診者数 18,585人（前年度比 198人増））。</p> <p>○禁煙パンフレットを肺がん検診・喉頭がん検診受診者に対し、各検診実施医療機関を通じて配布（8,600枚）し、禁煙の啓発に努めました。</p>	<p>4</p>
<p>決算額</p>	<p>1,639,033,171 円</p>

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります
 施策 1-2-1 誰もが健康に暮らせるまちをつくります

計画事業名		食育*の推進						
主な取組内容		区民の健康づくりの土台となる「食」に視点をおき、日々の生活の中で、誰もが食に関心を持ち、自らの健康づくりに役立てられるよう食育の推進に取り組みます。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
食育検討会の開催								継続
食育基本方針の策定	食育基本方針の策定・推進		策定	推進				継続
食の大切さの普及啓発	食育フェアの開催							継続
	地域活動栄養士会等の支援・連携							継続
	ヘルシーメニュー集の作成配布							継続
	食に関する情報提供		ホームページの活用					継続

所管部局	保健所	
平成 25 年度の取り組み内容		進捗状況
【食育検討会の開催】 ○食育検討会を開催（4 回）して、食育に関する取組みの実施状況を把握し、「おおた健康プラン（第二次）」に反映しました。		4
【食育基本方針の策定－食育基本方針の策定・推進】 ○「おおた健康プラン（第 2 次）」に食育推進基本方針を盛り込み、基本方針の推進を図りました。		4
【食の大切さの普及啓発－食育フェアの開催】 ○食の大切さを啓発するため、食育フェアを開催し、学校・保健所等における食育活動を紹介するパネル展示やレシピパンフレットの配布等を行いました。		4
【食の大切さの普及啓発－地域活動栄養士会等の支援・連携】 ○地域活動栄養士会等を対象に「変化する女性の身体を知り食生活を考える」をテーマに講習会を開催（参加者 30 人）しました。		4
【食の大切さの普及啓発－ヘルシーメニュー集の作成配布】 ○バランスのとれた朝食を食べることを促すため「ヘルシーメニュー（朝食メニュー）集」（5,500 部）を作成し、3 歳児健康診査、食育フェアで配布しました。		4

<p>【食の大切さの普及啓発－食に関する情報提供】</p> <p>○ホームページの充実として、食育フェアの開催内容の報告及び「健康バランスメニュー」の継続掲載を行いました。</p> <p>○東京誠心調理師専門学校と共催で親子食育教室「レストランシェフキッズ」を開催（参加者 27 組 54 人）しました。</p>	<p>4</p>
<p>決算額</p>	<p>477,055 円</p>

- 基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります
 施策 1-2-1 誰もが健康に暮らせるまちをつくります

計画事業名	地域医療連携の推進						
主な取組内容	救急医療だけではなく、小児科や産科などの一般医療、歯科医療及び災害医療においても、地域の病院や診療所が医療機能を分担し、かつ連携しながら治療を行う必要があります。そのためには、関係機関が一体となった連携体制を構築することにより、医療機関が抱える諸問題を軽減し、区民に効率的で質のよい医療が提供できる体制の整備を推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
医療機関等の現状把握と整理	分野別課題の整理・検討・対応策の実施						継続
医療情報の提供							継続

所管部局	保健所	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【医療機関等の現状把握と整理－分野別課題の整理・検討・対応策の実施】</p> <p>○医療関係機関と連携し、区民に効率的で質のよい医療が提供できる体制の整備を目的として、以下の取り組みを行いました。</p> <p>○入院医療協議会の活動（入院医療分野）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会 1 回、役員会 5 回 ・入院医療協議会講演会の実施（最新の緩和ケアについて） ・入退院調整担当者部会 2 回、幹事会 7 回 ・看護師専門部会幹事会 5 回、おおたふれあいフェスタへの参加、「レッツ・リナース」看護師再就職相談会 ・院内感染対策専門部会 2 回、幹事会 3 回 <p>○小児救急医療の充実（小児医療分野）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大田区小児救急整備事業の実施（医師会事業） ・大田区小児医療連携推進協議会 4 回 ・小児救急医療アンケートの実施 ・区内医療機関受診状況調査の実施 <p>○共有セーフティスコアの試験運用（周産期医療分野）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大田区版妊婦セーフティスコアの運用開始 ・周産期医療検討委員会幹事会 4 回 ・周産期医療講演会 <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>	4	

<p>(前ページからの続き)</p> <p>○在宅医療連携推進事業の実施（在宅医療分野）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回在宅医療連携推進協議会全体会の実施（講演、パネルディスカッション等） ・在宅医療連携推進協議会全体会実行委員会6回 ・在宅医療連携推進協議会役員会5回 <p>○大規模災害時医療体制の構築（災害医療分野）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大田区災害医療コーディネーターの委嘱 ・大田区災害医療連携会議 ・災害医療連携会議作業部会2回 ・救急告示病院向けアンケートの実施 	
<p>【医療情報の提供】</p> <p>○小児医療等の区民公開講座（11回、参加者延べ1,414人）を開催しました。</p> <p>○各種医療機関を広く区民に紹介するため、「おおた医療BOOK」（平成21年度）、「病院ガイドおおた」（平成22年度）を、1階戸籍住民課窓口、保健衛生課窓口、OTAふれあいフェスタ等で配布しました。</p>	4
<p>決算額</p>	50,243,186円

- 基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります
 施策 1-2-1 誰もが健康に暮らせるまちをつくります

計画事業名	食の安全確保						
主な取組内容	食中毒の発生頻度や発生した場合の患者数やリスク*を考慮した重点監視指導を実施します。普及啓発協力団体との連携、食の安全についての意見交換会等の実施により、日頃から区と区民の間で食品危害情報を共有し、危害発生時には迅速な情報提供の体制を整え、健康危機管理体制の充実を図ります。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
大規模給食施設等へのより高度な衛生管理手法の導入(新たに取り組む施設数 年4施設増)		13施設	17施設	21施設	25施設	29施設	継続
健康危害情報の共有化	ホームページによる健康危害情報の提供						継続
	電子メールによる情報提供	準備	実施	拡充			継続
普及啓発団体との連携(年4団体増)		24団体	28団体	32団体	36団体	40団体	継続

所管部局	保健所	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【大規模給食施設等へのより高度な衛生管理手法の導入（新たに取り組む施設数 年 4 施設増）】 ○重点監視指導を進め、より高度な衛生管理手法を導入した施設が 4 施設増加（集団給食 1 施設、仕出し弁当 3 施設）し、累計 29 施設（集団給食 18 施設、仕出し弁当 11 施設）となりました。	4	
【健康危害情報の共有化ーホームページによる健康危害情報の提供】 ○ホームページ上で、項目を目的別に分類し、小見出しと簡易な説明を追加することで、従来に比べて検索しやすい環境としました。 ○これまではPDFファイルの添付が大部分でしたが、読み上げや翻訳機能が使用できるよう、ほとんどの内容をコンテンツとして作成しておきました。 ○農薬（マラチオン）を検出した冷凍食品の自主回収情報を掲載しました。	4	
【健康危害情報の共有化ー電子メールによる情報提供】 ○大田区保健所情報メールの周知に努め、メールを受信する登録団体を、26 団体から 37 団体に増やし、食の安全に関する健康危害情報を発信（14 回）しました。	4	

<p>【普及啓発団体との連携（年4団体増）】 ○引き続き普及啓発団体との連携に努め、連携する団体が79団体となりました（前年度比4団体増）。</p>	<p>4</p>
<p>決算額</p>	<p>20,844,456 円</p>

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります
 施策 1-2-1 誰もが健康に暮らせるまちをつくります

計画事業名		健康危機管理体制の整備・充実						
主な取組内容		「大田区健康危機管理計画」に基づき、様々な健康危機に適切な対応ができるよう、マニュアルや体制の整備、訓練など実践的取り組みの充実を図ります。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
大田区健康危機管理計画の推進	健康危機管理マニュアルの整備・推進	整備		見直し		見直し		継続
大田区新型インフルエンザ対策行動計画の推進	各種訓練の実施							継続
	医療物資備蓄の推進							継続

所管部局	保健所	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【大田区健康危機管理計画の推進－健康危機管理マニュアルの整備・推進】 ○平成 26 年度に策定を完了する予定の大田区新型インフルエンザ等対策行動計画について、素案の作成作業を開始しました。 ○「新型インフルエンザ等感染症発生時大田区保健所対応マニュアル」を整備しました。	4	
【大田区新型インフルエンザ対策行動計画の推進－各種訓練の実施】 ○「新型インフルエンザ等感染症発生時大田区保健所対応マニュアル」の整備において、発生時の対応手順を明確化し、実践に則した訓練が実施できる内容としました。	4	
【大田区新型インフルエンザ対策行動計画の推進－医療物資備蓄の推進】 ○備蓄物資の在庫状況、管理状況について調査・点検を随時実施しました。	4	
決算額	70,813 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります
 施策 1-2-2 ユニバーサルデザインのまちをめざします

計画事業名	ユニバーサルデザイン*のまちづくり基本方針の策定・推進						
主な取組内容	区民や区を訪れる人が安全で円滑に移動できるまちを築くための考え方や、方策、手段等を盛り込んだ基本方針を策定します。策定後は、それを実現するためのアクションプランを定め、ユニバーサルデザインのまちをめざします。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の策定	ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の策定	検討	策定	推進			継続
	アクションプランの策定・実施	策定	実施				継続

所管部局	福祉部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の策定－ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の策定】</p> <p>○おおたユニバーサルデザイン（UD）のまちづくり区民推進会議を開催し（2回）、UD事業の実績報告や、UD普及部会・UD推進部会の活動報告等を行いました。</p>	4	
<p>【ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の策定－アクションプランの策定・実施】</p> <p>○おおたユニバーサルデザインのまちづくりパートナー（UDパートナー）登録制度により、区民 45 人を登録しました。UDパートナーにより、ユニバーサルデザインの視点で蘇峰公園など 11 か所の公園・施設等を点検しました。</p> <p>○東京都のユニバーサルデザイン福祉のまちづくり事業のモデル地区に指定されている山王、馬込、池上地区において、ユニバーサルデザイン教育の推進等の総合学習支援モデル事業を小学校 10 校で実施しました。</p>	4	
決算額	3,991,670 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります
 施策 1-2-2 ユニバーサルデザインのまちをめざします

計画事業名		誰にもわかりやすいサイン整備						
主な取組内容		障がいなどのハンディキャップを持つ人や外国人、大田区を始めて訪れる人などに、わかりやすく、利用しやすい案内や表示などのサインを整備し、移動しやすいまちをつくります。 整備にあたっては、ユニバーサルデザインの視点とともに、大田区の魅力をアピールできるよう観光の視点も加え取り組みます。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
誰にもわかりやすいサイン整備	サイン整備計画の策定		策定					
	サイン整備の推進							継続

所管部局	計画財政部	
平成 25 年度の取り組み内容		進捗状況
<p>【誰にもわかりやすいサイン整備ーサイン整備の推進】</p> <p>○区役所本庁舎の地下駐車場壁面（15 か所）にアイドリングストップサインを設置したほか、庁舎正面入口階段下に、南北のスロープを案内するサインを設置しました。</p> <p>○六郷地域力推進センターの新築工事に伴い、道路境界から主出入口まで及び主出入口から受付カウンターまで、誘導ブロックを設置しました。また、総合案内、各階案内、窓口サイン及び室名サインは、外国語を併記しました。</p> <p>○必要に応じて観光案内サイン（12 基）や文化財標識版（5 基）の補修・張替を行いました。</p> <p>○「大田区サイン基本計画」に掲げる事業について、平成 24 年度中の取り組み実績をとりまとめ、ホームページ等で公表しました。</p>		4
決算額	1,345,155 円	

- 基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります
 施策 1-2-3 障がい者が地域で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名	(仮称)障がい者総合サポートセンターの設置						
主な取組内容	障がい者(児)の地域における自立した生活を支援するため、相談や就労支援などを総合的にサポートする機能を備えたセンターを開設します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
(仮称)障がい者総合サポートセンターの設置		基本計画策定	調査 基本設計	実施設計	工事		竣工運営 相談支援、 自立支援・ ネットワーク、 交流支援、ボラン ティアセン ター、家族 支援等の充 実
地域自立支援協議会等との連携							継続

所管部局	福祉部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【(仮称)障がい者総合サポートセンターの設置】 ○近隣説明会を実施した上で、工事に着手しました(7月)。 ○平成 24 年度のサポートセンター検討委員会の報告を踏まえ、サポートセンターでの実施事業は障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスと位置付けました。また、運営方式については区直営を基本として、一部業務委託としました。	4	
【地域自立支援協議会等との連携】 ○大田区自立支援協議会との連携として、主に同協議会の地域資源評価開発部会において、サポートセンターで実施する講演会等のイベントに、障がい者や地域の人たちが参画していく道筋について意見を聴取しました。	4	
決算額	544,357,728 円	

- 基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります
 施策 1-2-3 障がい者が地域で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名	就労支援の充実						
主な取組内容	これまで培ってきた就労支援のネットワークをさらに発展させ、ハローワーク、区内特別支援学校*、障がい福祉施設や関係機関と連携し、障がい者の一般就労をさらに促進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
多様な障がいに対応した就労相談の推進							(仮称)障がい者総合サポートセンターへの事業統合
就労の促進		各年30人から70人					
定着支援(累計)		250人	300人	350人	400人	450人	
就労支援ネットワーク構築		調査・研究シンポジウムの実施	検討・協議	構築(精神)	構築(発達・高次脳機能)	連携	
地域自立支援協議会等との連携							

所管部局	福祉部
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況
【多様な障がいに対応した就労相談の推進】 ○障がい者の一般就労を促進するため、就労相談（相談件数 7,901 件）に対応しました。 ○新規相談 212 件（前年度比 43 人増）であり、障がい別の割合は、知的障がい 55 件、精神障がい 81 件、身体障がい 35 件、発達障がい 23 件、高次脳機能障がい 7 人件、その他 11 件でした。 ○精神・発達障がいの相談グループを 61 回試行し、延べ 153 人（前年度比 107 人増）が利用しました。	4
【就労の促進】 ○就労支援ネットワークを活用して就労促進支援を行い、73 人（障害者就労支援センター 21 人、特別支援学校 36 人、通所施設 16 人）が新規に就労しました。 ○職場体験実習（実習期間：1 日～3 か月間）を実施し、延べ 182 人（一般企業での実習が 39 社で 56 人、大田区役所内での実習が 3 課で 126 人）が参加しました。	4

<p>【定着支援（累計）】</p> <p>○仕事を継続できるよう、会社訪問、就業生活相談、仲間との余暇の場の提供等を行いました。</p> <p>○定着支援者は、507人（障害者就労支援センター341人、通所施設等121人、たまりば事業（障害者自助活動支援事業）のみ利用16人、年度内離職者29人）でした。</p>	5
<p>【就労支援ネットワーク構築】</p> <p>○継続して大田区就労促進担当者会議を実施し（12回）、主に身体障がい・知的障がいに対する就労支援ネットワークの強化を図りました。</p> <p>○大田区自立支援協議会精神障害者の就労支援部会（10回）に参加し、主として精神障がい・発達障がい・高次脳機能障がいに対する就労支援についての検討を行いました。</p> <p>○大田区自立支援協議会精神障害者の就労支援部会が主催して、精神障がい者を対象とした一般企業への職場体験実習を実施しました（7企業へ16人が参加）。</p> <p>○ネットワーク事業として、就労担当者セミナー、事業所見学会、就労者激励会、公開生活講座、就労促進懇談会、就労促進講演会を実施しました。</p>	4
<p>【地域自立支援協議会等との連携】</p> <p>○上記の大田区自立支援協議会精神障害者の就労支援部会を大田区自立支援協議会の専門部会として位置づけ、大田区自立支援協議会全体会において、検討の報告を行いました。</p> <p>○精神障がい者当事者と支援者向けの職場体験実習報告会を実施し、精神障がい者に対する就労促進支援について当事者とともに学びました（参加者70人、うち当事者37人）。</p>	4
<p>決算額</p>	8,961,587円

- 基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります
 施策 1-2-3 障がい者が地域で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名	地域生活移行支援(グループホーム*等)の充実						
主な取組内容	親なき後の障がい者や介護者の高齢化・疾病時に障がい者の居住の場を確保するため、グループホーム・ケアホームに対して整備費補助及び区の未利用地の貸付等を行います。また、自立生活訓練や地域で自立生活を行っている障がい者の生活支援の場の整備や、地域生活移行支援コーディネーター*体制の整備を図ります。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
グループホーム、ケアホーム整備支援							継続
自立生活訓練や生活支援の場の整備		検討	整備				継続
地域生活移行支援コーディネーター体制の整備		検討	整備				拡充

所管部局	福祉部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【グループホーム、ケアホーム整備支援】 ○新規にグループホーム2施設の開設（定員4名×2ユニット）に対して、開設・運営に向けた相談・助言を行いました。	4	
【自立生活訓練や生活支援の場の整備】 ○つばさホーム前の浦の緊急一時保護事業の利用者に対して特別介護人を派遣することで、つばさホームの利用を安定的に保障することができました。 ○居宅介護事業所のつばさホームへの派遣実績は年間 51 人で、つばさホームから通所施設までの移動支援を提供するなど利用者の利便性が向上しました。	4	
【地域生活移行支援コーディネーター体制の整備】 ○前年度に引き続き、精神科病院に1年以上入院している精神障がい者について、退院後安定した地域生活を送ることができるよう、入院中から退院準備に向けての支援や、退院後の治療中断防止等の支援を行う地域生活移行支援コーディネーターを1人配置し、30人が利用しました。 ○地域生活安定化支援調整会議（3回）を開催し、支援の進捗状況について確認するとともに、障害者総合支援法改正による変化や需要の増大等を見据え、区と事業者の連携円滑化について検討しました。	4	
決算額	6,600,000 円	

- 基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります
 施策 1-2-3 障がい者が地域で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名	ふれあい広場事業の充実						
主な取組内容	障がい者相互の参加交流とより幅広い区民参加を促進するため、「しょうがい者の日のつどい」の開催方法を検討します。また、新たな交流促進の場として(仮称)障害者総合サポートセンターで高齢者や子ども等を含めた幅広い区民とのふれあい・交流の場づくりを検討します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
しょうがい者の日のつどいの実施		つどいの実施開催方法の検討	新方式のつどいの開催				継続
福祉施設まつりの実施							継続
障害者福祉強調月間の実施							継続
(仮称)障がい者総合サポートセンター交流事業の実施						検討	実施

所管部局	福祉部	
平成 25 年度の取り組み内容		進捗状況
【しょうがい者の日のつどいの実施】 ○しょうがい者の日のつどいを開催しました（参加者 3,800 人）。 ○開催に向け、各障害者団体会長、民生・児童委員協議会長、少年少女団体協議会等の代表で構成される実行委員会（4 回）、福祉施設職員等で構成される準備委員会（2 回）、体育館見学（1 回）で検討を重ねました。 ○会場である大田区総合体育館の広さを活かした参加型のプログラムを取り入れるなど、幅広く区民が参加できるように企画しました。		4
【福祉施設まつりの実施】 ○大森東福祉園等の 14 の施設で、福祉施設まつりを実施しました（2 施設は台風等により中止）。		4
【障害者福祉強調月間の実施】 ○障害者福祉強化月間を実施し、しょうがい者巡回パネル展（4 か所、区役所本庁舎、アトレ大森、大田区総合体育館、グランデュオ蒲田）やしょうがい者文化展（作品出品者 431 人）で実施しました。 ○しょうがい者巡回パネル展では、各障がい者施設の通所者が作成に携わることができる参加型とし、施設紹介や施設のおまつりの様子等をパネルにして展示しました。また、広く区民にご覧いただける掲示場所を民間施設も含めて拡大しました。		4

<p>【(仮称)障がい者総合サポートセンター交流事業の実施】</p> <p>○サポートセンターの地域交流支援部門は、相談支援部門、就労支援部門、居住支援部門と合わせて一括して業務委託することとし、委託事業者を選定しました。</p> <p>○サポートセンター開設後の秋頃に、周辺の障がい者施設や関係機関と連携して地域交流イベントを実施する案を作成しました。</p>	4
<p>決算額</p>	<p>6,355,624 円</p>

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります
 施策 1-2-4 生きがいと誇りをもって暮らせるまちをつくります

計画事業名		生涯学習*リーダーの育成						
主な取組内容		区民の学習成果を活かし、区民による主体的な学習・スポーツ活動や地域づくりにつなげていくために必要な人材育成を行います。講座や講習会の実施のほか、区民大学等の企画運営への参画、自主講座等の支援を通じて人材育成を行い、将来的には区民が互いに意欲や力を活かした主体的な活動に発展させることができるように取り組めます。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
生涯学習リーダーの育成	生涯学習プランナー講座の実施							継続
	コーディネーター養成講座の実施							継続
区民の主体的学習の支援	区民参加型企画運営講座の開催							継続
	区民による自主講座等の開設支援							継続
地域スポーツリーダーの育成	地域スポーツリーダー講座の実施							継続
	地域スポーツクラブの運営支援							継続
青少年リーダー講習会の実施								継続
地域活動ステップアップ講座の実施								継続

所管部局	教育総務部	
平成 25 年度の取組み内容	進捗状況	
<p>【生涯学習リーダーの育成－生涯学習プランナー講座の実施、コーディネーター養成講座の実施】</p> <p>○生涯学習人材養成講座「学べば、私が、地域が変わる！～情報をつなげよう～」(全 8 回、参加者 30 人)を実施しました。生涯学習情報の収集・発信を中心テーマに、生涯学習リーダー活動につながる内容としました。</p>	4	

<p>【区民の主体的学習の支援－区民参加型企画運営講座の開催】</p> <p>○区民大学のうち、企画会として、①「子育てと地域講座」企画会（全11回、参加者6人）、②「障がい者理解・共生講座」企画会（全11回、参加者9人）、③「災害とメディア講座」企画会（全10回、参加者7人）を開催しました。</p> <p>○区民参加型企画運営講座（企画会参加者（企画員）が運営）として、①「地域で支える、みんなで楽しむ、これからの子育て！」（全6回、参加者46人）、②「誰もが暮らしやすいまちづくりへの提言」（全8回、参加者97人）、③「災害時の情報選びのヒントを見つけよう！賢いメディアの選び方・使い方」（全6回、参加者67人）を実施しました。</p> <p>○生涯学習リーダー企画運営講座（生涯学習リーダーが運営）として、①「笑いは宝！一緒に広げる笑いの輪」（全4回、参加者42人）、②「70万大田区シリーズ1～区役所の仕組みを知る！！～」（全5回、参加者36人）、③「超高齢社会を迎え、介護が変わる！地域が変わる！！」（全6回、参加者82人）を実施しました。</p>	4
<p>【区民の主体的学習の支援－区民による自主講座等の開設支援】</p> <p>○自主講座未経験の団体に、「区民による区民のための連携講座」を案内し、講座の企画運営を実践的に学習できるようにしました。次のステップとして、他団体との連携、会場探し、区民への周知方法など、団体からの相談に対応し、必要な情報を提供することによって、自主講座の開催に向けた支援をしました。</p>	4
<p>【地域スポーツリーダーの育成－地域スポーツリーダー講座の実施】</p> <p>○地域スポーツクラブの運営及び指導者の育成を図ることを目的に、地域スポーツクラブ指導者養成講習会を開催（全1回、参加者14人）しました。</p>	4
<p>【地域スポーツリーダーの育成－地域スポーツクラブの運営支援】</p> <p>○大森、蒲田地区において地域住民が主体となって運営する地域スポーツクラブの設立支援を行いました。</p> <p>○調布地区の総合型地域スポーツクラブ「田園調布グリーンコミュニティ」に対し、引き続き地域へのPRなど、情報提供等の運営支援を行った。</p>	4

<p>【青少年リーダー講習会の実施】</p> <p>○青少年指導者セミナーとして、「災害時の心のケアから学ぶ、子どもを支える言葉、行動（知識編・実践編）」を実施（2回、参加者48人）しました。災害時、子どもたちは特別な配慮が必要な人（災害弱者）となります。様々な事例と対応を参考にして、日頃の子どもたちの心のケアへの理解を深めました。</p> <p>○「レゴブロックで“未来のカフェ”をデザインする～よりよい地域コミュニティの構築～」を実施（1回、9/7、参加者18人）し、青少年がのびやかに育つ地域コミュニティについて学びました。</p> <p>○子ども・若者の居場所づくり実施団体同士の連携および居場所づくりへの関心を地域に広げていく目的で、「子ども・若者」居場所シンポジウム」を実施（1回、参加者29人）しました。</p> <p>○自然体験キャンプセミナー「インターネットと携帯機器を使って自然遊び」を実施（1回、参加者15人）しました。情報化が進行する中、情報機器を使った自然体験プログラムの実践から、リスクマネジメントを学習し、指導者の危機管理の向上に役立てました。</p>	4
<p>【地域活動ステップアップ講座の実施】</p> <p>○団体活動ステップアップ講座「地域に役立つ団体活動を目指そう～プラス思考でみんなつながる～」を実施（全4回、参加者17人）しました。地域で役立つ団体活動をするために必要なことについて、ワークショップを通して気づきや考えを深め、具体的な実践に向けて学びました。今年度は区民参加の企画会（全10回、参加者5人）を行い、講座を立案しました。</p>	4
<p>決算額</p>	1,810,653 円

- 基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります
 施策 1-2-4 生きがいと誇りをもって暮らせるまちをつくります

計画事業名	*生涯学習センターの整備						
主な取組内容	公共施設を活用し、生涯学習・スポーツ活動等の情報提供やコーディネート*機能を持つ生涯学習センターを整備します。 このセンターを拠点として、生涯学習リーダー・スポーツリーダー間の情報の共有化やネットワーク化を進め、区民と協働*で生涯学習・スポーツ活動等を推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
生涯学習センターの整備		検討・生涯学習相談会等の実施					開設・運営

所管部局	教育総務部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【生涯学習センターの整備】 ○延べ 46 人の生涯学習リーダーの参加を得て、生涯学習相談会（6 回、来場者 1,057 人、相談件数 134 件）を開催しました。 ○生涯学習センターの整備に向けては、本庁舎内に生涯学習情報コーナーを設置しました。 ○生涯学習の活動拠点の整備については、場所の確保、区民協働等の関係部局との連携について検討を進めました。	4	
決算額	287,806 円	

- 基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります
 施策 1-2-4 生きがいと誇りをもって暮らせるまちをつくります

計画事業名	スポーツ施設の整備(大田区総合体育館の整備)						
主な取組内容	「みるスポーツ、するスポーツ」を基本コンセプト*とした、大田区総合体育館を建設し、区民の生涯スポーツの拠点とします。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
大田区総合体育館の整備	解体工事	完了					調布地区体育館整備調査・検討
	建設工事	着工	工事	完了			
	事業の実施		指定管理者*の選定	開館準備	事業実施		継続

所管部局	教育総務部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【大田区総合体育館の整備－事業の実施】</p> <p>○区民の健康をスポーツで支える多様なプログラムのスポーツ教室を開催（3,653 教室、参加者延べ 33,761 人）しました。</p> <p>○10 月から室内競技トップリーグのシーズン開幕となり、バレーボールやバスケットボールの試合が定期的で開催されました。また、エアロビクスの世界大会やボクシングの世界タイトルマッチを開催し、多くの集客を得ました。これらのほか、区民等の利用や各種大会の開催もあり、開館より安定した利用がありました。</p> <p>○来館者の合計は、232,718 人に達しました(前年度比 18,239 人増)。</p>	4	
決算額	148,093,338 円	

- 基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります
 施策 1-2-4 生きがいと誇りをもって暮らせるまちをつくります

計画事業名		図書館の改築・改修						
主な取組内容		「均質で公平な図書館サービス」を実現するため概ね徒歩15分圏内に1館、計16館を配置してきました。今後、老朽化の進んでいる図書館改築・改修を進めるにあたっては、「地域特性」を活かした「情報拠点」として施設機能の向上を図ります。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
入新井図書館の改築	内装工事		内装設計	工事				
	開館・運営			準備	開館			継続
図書館の改築・改修			検討	推進				継続

所管部局	教育総務部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【入新井図書館の改築－開館・運営】</p> <p>○地域ボランティアと連携しサービスの向上を図りました。</p> <p>○「第33回森っこフェスティバル」及び「第9回キッズフェスティバル」に参加しました。青空おはなし会（参加者68人）やりサイクル市（490冊提供）を開催しました。</p> <p>○おはなし会を開催（62回、参加者延べ1,758人）しました。</p> <p>○「販売促進で商売繁盛!」、「天気予報の上手な使い方」の演題で、講演会を開催（2回、参加者延べ43人）しました。</p> <p>○大田区中小企業診断士会による無料相談会を毎週土曜日午後、図書館内にて開催しました。</p>	4	
<p>【図書館の改築・改修】</p> <p>○六郷図書館改築工事の実施設計を行いました。また近隣の住民を対象とした「南六郷三丁目10番の施設整備計画に関する地元説明会」を開催し説明を行いました。</p> <p>○図書館の改修について現状調査を行い、優先度を考慮して改修を進め、機能維持を図りました。</p> <p>○大田図書館屋上・外壁改修工事、多摩川図書館空調機取替工事、大森南図書館空調機取替工事を実施しました。</p>	4	
決算額	141,399,550 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります
 施策 1-2-4 生きがいと誇りをもって暮らせるまちをつくります

計画事業名	馬込文士村*資料の活用						
主な取組内容	大田区立郷土博物館で保管している、かつて馬込文士村に居住した文士の関連資料を整理し、大田区の歴史・文化の継承や観光資源として活用を図ります。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
馬込文士村展示リニューアル		実施	活用				継続
関係資料の地域資産化・活用							継続

所管部局	教育総務部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【馬込文士村展示リニューアル】 ○借用資料を活用したスポット展示「村岡花子の大森時代」を実施し、重点的に村岡花子の紹介を行いました。また、スポット展示後も、展示資料を 20 点増やすなど、常設展の拡充を図りました。	4	
【関係資料の地域資産化・活用】 ○馬込文士村資料（尾崎士郎関連）の整理作業を行い、図書資料を中心に約 3,500 点を博物館に移動し、保存・管理しました。 ○小規模展示（スポット展、ロビー展）で、関係機関 4 館他と資料貸借、資料調査等を行った。また団体への事業協力および指導を行い相互の連携を図りました。	4	
決算額	590,136 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります
 施策 1-2-5 安定した暮らしと人権を守ります

計画事業名	女性の就労支援(再チャレンジ等)						
主な取組内容	就労を希望する女性及び子育て等により離職した女性がその意欲と能力を活かして再就労や起業にチャレンジできるよう、スキルアップのための講座実施や情報提供により支援します。また、働きやすい就労環境の確保を支援するために「ワーク・ライフ・バランス*」の意識を啓発していきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
女性のための就労支援							継続
働く女性のための相談							継続
「ワーク・ライフ・バランス」の啓発							継続

所管部局	総務部
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況
【女性のための就労支援】 ○女性が働く意欲と能力を活かして再就職や起業にチャレンジできるよう、再就職セミナー「女性のための再就職セミナーすぐに役立つ！お仕事復活ナビ」（4回、参加者延べ77人）や、就労応援フェア「女性のための就労応援フェア」（1回、参加者34人）、育休ママのための復帰プランセミナー「育休ママのワクワク復帰プラン」（3回、参加者延べ51人）を開催しました。	4
【働く女性のための相談】 ○女性のための相談（こころの悩み・働く女性の悩み）を実施（電話相談647件、面接相談285件）し、女性の就労上の問題や就職の悩みに対応しました。	4
【「ワーク・ライフ・バランス」の啓発】 ○ワーク・ライフ・バランスの啓発のため、第一子の乳幼児とその父親向けの講座「パパの手でつくる赤ちゃんのハッピータイム」（3回、参加者延べ53組106人）、幼児とその父親向けの講座「おとうさんといっしょ」（2回、参加者延べ40組80人）、小学生とその父親向けの講座「パパとキッズのチャレンジ大作戦」（3回、参加者延べ43組89人）を開催しました。 ○本庁舎、男女平等推進センターにて、パネル展を実施しました。	4
決算額	3,018,830 円

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります
 施策 1-3-1 高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくります

計画事業名	高齢者の就労促進・起業支援						
主な取組内容	高齢者を積極的に雇用するシステムを作るとともに、拠点となる高齢者就労支援センターを整備し、高齢者の就労や起業の相談・支援、情報提供、講座や面接会を開催し、高齢者の働く場の拡大に努めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
高齢者就労支援体制の整備		調査	策定				
高齢者就労支援センターの開設		検討	設置準備	開設	相談・支援・情報提供		継続

所管部局	福祉部	
平成 25 年度の取り組み内容		進捗状況
【高齢者就労支援センターの開設】 ○シルバーまつり会場内に大田区いきいきしごとステーションのブースを設置し、来場者へのチラシ配布や相談に応じるとともに（来場者約 50 名）、同ステーションの PR を行いました。 ○合同就職面接会（参加者 112 人）、ミニ就職面接会（8 回、参加者延べ 86 人）、再就職支援セミナー（8 回、参加者延べ 127 人）を開催しました。		4
決算額	24,398,490 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります
 施策 1-3-1 高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくります

計画事業名		元気高齢者の活動、交流の場の確保						
主な取組内容		公園の高齢者向け健康遊具*を活用した教室の実施や指導者育成、公園体操など、地域での交流の場の拡大に努めます。 空き店舗等を利用した、高齢者が働き憩えるふれあいサロンの整備を支援します。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
健康遊具公園の活用	公園体操講座(再掲)	実施	拡充					継続
	公園体操指導者育成講座(再掲)	実施	拡充					継続
	自主運営サポート				実施	拡充		継続
ふれあいサロン		検討		モデル事業		整備支援		継続

所管部局	福祉部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【健康遊具公園の活用－自主運営サポート】 ○公園体操地域指導員のレベルアップのためのスキルアップ講座を矢口二丁目公園（参加者延べ 49 人）、ふくし公園（参加者延べ 18 人）で開催しました。	4	
【ふれあいサロン】 ○サロン活動に関するチラシ、パンフレットを区役所、さわやかサポート等で配布するとともに、区ホームページにて活動を周知しました。 ○区民住宅プラムハイツ本羽田 301 号室を地域活動団体に賃貸し、「本羽田ふれあいサロン」を開設しました（利用者数延べ 967 人）。	4	
決算額	2,230 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります
 施策 1-3-1 高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくります

計画事業名	介護予防の促進						
主な取組内容	健康づくり施策の一環として寝たきりゼロ(要支援・要介護とならないこと)を目標に、対象を一般高齢者に広げた介護予防のシステムをつくります。一人ひとりの体力や個性に合わせた介護予防プログラムを作成し、実践の場を整備します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
介護が必要となる可能性の高い高齢者向け施策の促進	アンケート調査(介護予防基本チェック)	→					継続
	通所型介護予防講座	→					継続
	訪問型介護予防個別指導	→					継続
元気な高齢者向け施策の促進	介護予防講座	→					継続
	公園体操講座	実施	拡充				継続
	認知症予防講座	→					継続
指導者育成	公園体操指導者育成講座	実施	拡充				継続
	介護予防サポーター講座	→					継続

所管部局	福祉部
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況
【介護が必要となる可能性の高い高齢者向け施策の促進－アンケート調査（介護予防基本チェック）】 ○70・72・74 歳社会保険対象者に対し、介護予防基本チェックリストのアンケート調査を実施（4,429 件発送、2,624 件回収、回収率 59.2%）し、対象となった 599 人へ二次予防事業を案内しました。	4
【介護が必要となる可能性の高い高齢者向け施策の促進－通所型介護予防講座】 ○通所型介護予防講座いきいきシニア塾として、運動編 6 日制を実施（34 回、参加者 362 人、延べ 1,792 人）しました。また、運動・栄養・口腔編がセットになった予防講座である総合プログラム 12 日制を開催（12 回、参加者 222 人、延べ 2,195 人）しました。	4
【介護が必要となる可能性の高い高齢者向け施策の促進－訪問型介護予防個別指導】 ○閉じこもりやうつ、認知症等で通所型介護予防講座いきいきシニア塾に通うことができない方を対象に、訪問型で介護予防の個別指導を行いました（延べ 98 人）。	4

<p>【元気な高齢者向け施策の促進－介護予防講座】</p> <p>○20か所のさわやかサポートで介護予防教室を実施（合計249回、延べ3,694人）しました。</p> <p>○テーマ別講座として、「太極拳体操」1日制（4回、参加者延べ177人）、「体力測定と筋力アップ」1日制（4回、参加者延べ148人）、「水中ウォーキング」3日制（2回）と4日制（1回）を開催（参加者延べ282人）しました。</p>	4
<p>【元気な高齢者向け施策の促進－公園体操講座】</p> <p>○「公園体操講座」を、本門寺公園（12回、参加者延べ348人）、矢口二丁目公園（12回、参加者延べ467人）、ふくし公園（12回、参加者延べ300人）、萩中公園（12回、参加者延べ962人）の4公園で開催しました。</p>	4
<p>【元気な高齢者向け施策の促進－認知症予防講座】</p> <p>○「認知症予防講座」1日制（4回、参加者延べ194人）、「認知症体操」6日制（2回、参加者延べ312人）を開催しました。</p> <p>○六郷地域力推進センター開所に伴い、「認知症予防体操」2日制を開催（2回、参加者延べ178人）しました。</p>	4
<p>【指導者育成－公園体操指導者育成講座】</p> <p>○公園体操指導者育成講座を、ふくし公園（全6回、参加者延べ53人）、萩中公園（全12回、参加者延べ187人）で開催しました。</p>	4
<p>【指導者育成－介護予防サポーター講座】</p> <p>○介護予防活動サポーター養成講座2日制を開催（1回、参加者延べ30人）しました。</p> <p>○介護予防活動リーダー養成講座2日制を開催（1回、参加者延べ38人）しました。</p>	4
<p>決算額</p>	297,816,599円

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります
 施策 1-3-2 高齢者が安心できる暮らしを支えます

計画事業名		地域の見守り体制の整備						
主な取組内容		地域（民生委員、自治会・町会*、商店会、ボランティア、関係機関、事業者*など）と連携して、さわやかサポート*（地域包括支援センター）を核とした、高齢者を見守り・支え合う体制を整備します。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
見守り・支え合いネットワークづくりの啓発	シンポジウムの実施、先駆的事例集の作成							継続
	相談窓口の周知							継続
	広報媒体の活用							継続
見守り・支え合いネットワーク整備の推進						充実		継続
緊急通報システムの調査・検討								継続

所管部局	福祉部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【見守り・支え合いネットワークづくりの啓発－シンポジウムの実施、先駆的事例集の作成】 ○各さわやかサポートが、地域の関係機関と協同して、講座や講演会等を開催（計 454 回）し、地域の高齢者に役立つ情報を提供するとともに、関係機関との連携を図りました。	4	
【見守り・支え合いネットワークづくりの啓発－相談窓口の周知】 ○見守りキーホルダー登録のために来所した区民に対し、さわやかサポートの役割の周知や高齢者の見守りに関する啓発を行うことで、顔が見える関係づくりに努めました。	4	
【見守り・支え合いネットワークづくりの啓発－広報媒体の活用】 ○区報（平成 25 年 4 月 21 日号、6 月 21 日号、平成 26 年 2 月 21 日号）に記事を掲載したほか、区ホームページへの掲載、デジタルサイネージによる広報を行いました。	4	

<p>【見守り・支え合いネットワーク整備の推進】</p> <p>○高齢者見守りキーホルダーの登録者拡大に向けて、自治会・町会の協力による出張登録会の開催や地域のイベント、シルバーパス更新会場での臨時登録窓口の開設等の取り組みを行い、20,125人の登録がありました。</p> <p>○キーホルダー事業のPR や見守りチェックシート等のツールを活用しながら、地域との連携を図るとともに、地域からの情報提供等により気になる高齢者宅を訪問し、必要に応じて適切なサービスにつなげました。</p> <p>○新たに4事業者を高齢者見守り推進事業者として登録（全18団体）し、区と連携した見守りを強化しました。</p>	4
<p>【緊急通報システムの調査・検討】</p> <p>○緊急通報システム事業の見直しに向けた検討会を毎月実施しました。</p> <p>○他自治体及び類似緊急通報サービス等の調査や、業者を呼んで必要経費や細部の確認等を行い、今後の緊急通報システムのあり方について、対象者の整理と類似サービスとの役割分担を明確にし、要綱改正を行いました。</p>	4
<p>決算額</p>	13,781,443 円

- 基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります
 施策 1-3-2 高齢者が安心できる暮らしを支えます

計画事業名		家族介護者への支援						
主な取組内容		家族介護者の精神的・身体的負担の軽減を図るため、ショートステイ*の受入れを拡大していきます。また、家族介護者への支援や相談、セミナーの充実を図ります。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
ショートステイの拡充								継続
相談の実施	在宅高齢者訪問相談							継続
	こころの健康相談							継続
介護セミナーの実施								継続
家族介護者支援事業の充実								継続

所管部局	福祉部、保健所	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【ショートステイの拡充】 ○東京都補助協議 1 施設（5 床）の内示を受けました。 ○東京都補助協議に 2 施設（21 床）の申請を行いました。	4	
【相談の実施－在宅高齢者訪問相談】 ○家族介護者の健康相談や、在宅での栄養・運動・口腔に関する相談（相談件数 436 件）を行いました。 ○区報掲載（平成 25 年 5 月 11 日号）や、各地域福祉課でのチラシ配布等で事業周知しました。	4	
【相談の実施－こころの健康相談】 ○家族介護者からのこころの健康に対する相談には、日常的に区やさわやかサポートの専門職（保健師等）が対応しました。 ○より専門的な相談や、医療的な支援が必要な場合は、関係部局で連携し、訪問による相談を実施する等、専門機関等へ誘導しました。	4	

<p>【介護セミナーの実施】</p> <p>○認知症サポーター養成講座を 34 回実施し、1,095 人が認知症サポーターとなりました。</p> <p>○すべてのさわやかサポートにキャラバン・メイト（認知症サポーターの講師）を 1 人以上配置しました。</p>	4
<p>【家族介護者支援事業の充実】</p> <p>○家族介護者に対する介護方法の指導や健康相談等を実施したほか、家族介護者情報誌「ゆうゆう」（夏号～春号、各 6,000 部）を発行し、民生委員や介護事業者への配布を行うとともに、ホームページの掲載などで周知し、3つの新規介護家族会（蒲田介護者の集い（蒲田）、介護者の会（六郷）、家族介護者会（大森））が活動を開始しました。</p> <p>○家族介護者支援ホームヘルプサービス事業の周知について、介護保険事業者連絡会への出席による周知のほか、区報への記事の掲載（平成 25 年 11 月 11 日号）や介護保険サービス事業者向け Web 情報提供システム「大田区ケア倶楽部」への記事の掲載など、さまざまな機会を通じて、チラシ配布等を行いました。</p>	4
<p>決算額</p>	18,343,854 円

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

個別目標 1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります

施策 1-3-2 高齢者が安心できる暮らしを支えます

計画事業名	さわやかサポート [*] (地域包括支援センター)の拡充と福祉ネットワークの強化						
主な取組内容	さわやかサポートを核とした地域における多様な社会資源をネットワーク化するとともに、区民の利便性等を考慮し、さわやかサポートの適正な配置を行っていきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
さわやかサポートの運営			検討・再配置		充実		継続
よりわかりやすい施設案内の整備		検討	実施				継続
さわやかサポート相談担当職員研修の実施							継続

所管部局	福祉部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【さわやかサポートの運営】 ○さわやかサポートにおいて、行政情報参照システムにより、高齢者の支援に必要な情報を迅速に確認し、所要時間の短縮等、区民サービスの向上につなげました。	4	
【よりわかりやすい施設案内の整備】 ○区報（平成 26 年 2 月 21 日号）の 1 面に記事を掲載し、PR を行いました。	4	
【さわやかサポート相談担当職員研修の実施】 ○さわやかサポート職員の相談対応能力の向上や情報提供を目的とした研修を実施（3 回、参加者延べ 66 人）することで、さわやかサポートの機能強化を図りました。	4	
決算額	617,860,003 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

個別目標 1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります

施策 1-3-2 高齢者が安心できる暮らしを支えます

計画事業名		介護保険施設等の整備支援						
主な取組内容		特別養護老人ホーム(ショートステイ*を含む)、老人保健施設、認知症高齢者グループホーム*等の整備を推進するため、民間事業者の施設整備を支援します。とりわけ、特別養護老人ホームについては、民間誘導に向けた調査を実施し、民間事業者が参入しやすい環境づくりに努めていきます						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
特別養護老人ホームの整備支援	整備意向調査	調査実施						事前協議 竣工・開設 (160床以上)
	整備支援		事業推進		事前協議			
老人保健施設の整備支援								継続
認知症高齢者グループホームの整備支援								継続

所管部局	福祉部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【特別養護老人ホームの整備支援－整備支援】 ○特別養護老人ホームの整備に関する相談に対応し、1 施設（30 床）が東京都補助協議の内示を受け、2 施設（165 床）が東京都補助協議に申請するに至りました。	4	
【老人保健施設の整備支援】 ○1 施設（116 床）が東京都補助協議に申請するに至りました。	4	
【認知症高齢者グループホームの整備支援】 ○前年度に工事着工した認知症高齢者グループホーム（グループホームのどか池上、グループホーム大森東あやめ、各 3 ユニット）が開設しました。	4	
決算額	256,685,159 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります
 施策 1-3-2 高齢者が安心できる暮らしを支えます

計画事業名	高齢者総合相談体制の構築						
主な取組内容	高齢者の保健・福祉・介護に関する相談を総合的に、また、いつでも対応できる体制を整備します。夜間・休日電話相談(高齢者ほっとテレフォン)の実施等により、高齢者サービスに結びつけ、高齢者や家族が安心して暮らせるよう支援します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
夜間・休日電話相談(高齢者ほっとテレフォン)の実施		開始					継続
各種高齢者相談の連携体制の構築・推進		検討	推進				継続

所管部局	福祉部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【夜間・休日電話相談（高齢者ほっとテレフォン）の実施】</p> <p>○高齢者ほっとテレフォン（区窓口が閉庁している平日夜間、土・日曜日、祝日及び年末年始に行う電話相談）を実施し、高齢者や家族等からの相談（相談件数 1,154 件）に対応しました。</p> <p>○相談内容等は、高齢者本人からの相談が約 62%を占め、医療・健康相談、悩み（心理）相談、介護保険制度の相談が多くなっています。</p> <p>○事業周知のため、区報（7回）、統合ポスター、区ホームページに掲載し、デジタルサイネージで年間を通じて映像コンテンツ、テロップを放映しました。ポスターやチラシは、さわやかサポート等窓口、区内医療機関、ひとり暮らし登録者等に配布しました。また、見守りキーホルダー登録時の申請書類等を活用し制度の周知を図りました。</p>	4	
<p>【各種高齢者相談の連携体制の構築・推進】</p> <p>○さわやかサポート職員の相談対応能力の向上を目的とした各種研修（3回、参加者 66人）を実施しました。</p>	4	
決算額	8,722,413 円	

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります
 施策 1-3-3 いざというときに高齢者を支える体制をつくります

計画事業名	高齢者緊急一時保護・支援体制の整備						
主な取組内容	虐待・介護放棄により自らの安全を守ることが困難になった人、認知症により資産管理・生活維持ができない人、退院後の居住確保ができない人等に対し、緊急一時保護・支援体制を整備します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
緊急支援体制の構築		検討	充実				継続
緊急ショートステイ*の拡充		充実					継続

所管部局	福祉部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【緊急支援体制の構築】</p> <p>○緊急支援体制の強化として、区内警察署との連絡会議において、区の高齢福祉サービスの情報提供や認知症高齢者への対応事例等の意見交換を行ったほか、医療機関連絡会にて、医療機関関係者との事例検討を実施し、緊急時の相互連携について意見交換を行いました。</p>	4	
<p>【緊急ショートステイの拡充】</p> <p>○緊急ショートステイについては、区立施設の割合を高めた（区立特別養護老人ホーム：3床から4床に増床、民間老人保健施設：2床から1床に減床）ことで、路上保護や虐待等の困難事例の増加に臨機応変に対応することができました。</p> <p>○介護保険サービス事業者向けWeb情報提供システム「大田区ケア倶楽部」等を活用し、事業内容と池上特養1床増、老健1床減による緊急ショートステイのサービス拡充について、地域包括支援センターと居宅介護支援事業所へ周知しました。</p>	4	
決算額	13,846,000	

- 基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち
 個別目標 1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります
 施策 1-3-3 いざというときに高齢者を支える体制をつくります

計画事業名		高齢者等の権利擁護の推進						
主な取組内容		成年後見制度*及び地域福祉権利擁護事業利用促進によって高齢者等の権利擁護を図ります。成年後見制度について、必要に応じて区長申立、低所得者への後見人報酬助成、社会貢献型後見人養成、広報啓発活動を実施します。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
成年後見制度の活用支援	成年後見制度の周知							継続
	成年後見事業の推進							継続
後見人の確保	社会貢献型後見人養成							継続
	法人後見の推進							継続
地域福祉権利擁護事業利用促進								継続

所管部局	福祉部
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況
【成年後見制度の活用支援－成年後見制度の周知】 ○区報(平成 25 年 8 月 1 日号)に成年後見制度の案内を掲載したほか、介護保険事業者連絡会(2回)で周知しました。 ○社会福祉協議会成年後見センター職員が、地域学習会等に講師として出張し(10回)支援を行いました。	4
【成年後見制度の活用支援－成年後見事業の推進】 ○社会福祉協議会成年後見センターで、成年後見制度の活用に向け、窓口相談(1,396件)、専門相談(44件)、成年後見人養成講座(親族後見人等を対象、基礎3回、実務3回、参加者75人)、窓口担当者法律セミナー(金融機関窓口職員等を対象、4回、参加者67人)を実施しました。また、関係団体等との懇談会など、共催事業を実施(10回)しました。 ○家庭裁判所に、成年後見制度に関する区長申立て(25件)を行いました。	4

<p>【後見人の確保－社会貢献型後見人養成】</p> <p>○社会貢献型後見人の育成及び活用のために、弁護士等の専門職を交え、社会福祉協議会成年後見センターの体制整備を進めました。</p> <p>○社会貢献型後見人の後見人受任に向けて、社会福祉協議会成年後見センターにおける実習を充実しました。また、東京都養成基礎講習修了者（4人）が実習を継続して行いました。</p> <p>○本事業で養成した社会貢献型後見人候補者（1人）が、社会貢献型後見人として新規に受任し、社会福祉協議会成年後見センターが後見監督人に就任しました。</p> <p>○平成25年度東京都社会貢献型後見人養成基礎講習受講者を公募し、3人推薦し、うち2人が基礎講習を修了しました。</p>	4
<p>【後見人の確保－法人後見の推進】</p> <p>○社会福祉協議会成年後見センターでの法人後見の新規受任件数は8件（法定後見6件、後見監督1件、任意後見1件）、受任終了件数は3件（法定後見3件）で、受任件数は26件（法定後見18件、後見監督1件、任意後見7件）となりました。</p>	4
<p>【地域福祉権利擁護事業利用促進】</p> <p>○社会福祉協議会成年後見センターにおける地域福祉権利擁護事業（都事業の区社協受託分）は、新規契約件数は10件、終了件数は12件、契約件数は42件となりました。</p> <p>○地域福祉権利擁護事業（対象拡大部分）は、新規契約件数は1件、終了件数は1件、現在契約件数は12件となりました。</p>	4
<p>決算額</p>	31,598,805 円